

臨床美術の歩み

- ・ 1995年に彫刻家 金子健二、脳外科専門医 木村 伸医師、
カウンセラー 関根 一夫氏により、医師、アーティスト、
ファミリーケア・アドバイザーによる認知症治療を考案
- ・ 1996年2月より大宮市医師会市民病院にて5名の患者から
スタート
- ・ 1998年4月 東北福祉大学に「感性福祉研究所」が設立さ
れ、芸術療法班として研究が始まる
- ・ 2000年5月 国立精神神経センター武蔵病院にて1年間の
アートセラピーの実践研究を開始